**脳振盪報告書（兼脳損傷等報告書）**〔□脳振盪　□脳振盪の疑い　□脳損傷　□急性硬膜下血腫〕

該当する頭部外傷に✓を入れて下さい。重複しても構いません。

この報告書の脳損傷とはCT/MRI等の画像によって診断される骨や脳の外傷とします。例として、急性硬膜外血腫、脳挫傷、外傷性くも膜下出血、頭蓋骨骨折等であり、単なる頭皮の傷は含みません。以下に医師から知らされた診断名を記入して下さい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　報告日　 西暦　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　報告者氏名

□チーム責任者 □チームドクター □チームトレーナー

□チームSA □マッチドクター □レフリー

連絡を取りやすい連絡先（電話やメール）

脳損傷等の診断名（　　　　　　　 　 　　　 　 　）

受傷者 (選択肢があるものには✓をつける)

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　生年月日　西暦　　　　年　　月　　日　　年齢　　　歳　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□男　　□女　　　　　　　　 |
| チーム名　　　　　　　　　　　 　　　□15人制　□7人制　□その他（　　　　　）ポジション（　　　　）　　 |
| カテゴリー 　□スクール　□中学　□高校　□高専　□大学　　　　　在籍する学校の学年　　　　　　年生　　　　　　 □社会人(含むLEAGUE ONE)　□クラブ　　□その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 所属都道府県協会　　　　　　　　　　　　　　 　　　協会 |

受傷の状況 (選択肢があるものには✓をつける )

|  |
| --- |
| 受傷日 　　西暦　　　　年　　　月　　　日　　　　　　　場所　　　　　　　　　　　　　　　　□　試合　　　　　　　　　　 　　　 　受傷時のプレー　　□タックルをした　□タックルをされた　　　　　　　　　　　　　　　　　 　□ 練習試合　　　　　　 　　　　　　　　□ラック・モール　□不意の衝突　□スクラム　□不明　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□　練習□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 頭部打撲の対象 　 相手選手の（□膝　□腰　□頭　□その他）　　□味方選手　　□不明　　□その他□頭部に衝撃を受けた後ピッチにも頭部をぶつけた　　□逆ヘッドタックルだった (該当すれば✓を入れる　複数可) |

受傷時の症状　　(当てはまる症状に✓をつける。複数回答可)　※SCATでの症状の確認および記録を推奨

□A意識消失/意識消失の疑い　□Bけいれん発作　 □C硬直姿勢 　□D立ち上がれない/バランスが悪い　 □E混乱している　□Fぼーっとしている/表情が乏しい/うつろな表情　　□G見当識がない(場所や時間がわからなくなる)　　□H行動が変わった(感情的になる/いらだつ)　　□I健忘(思い出せない)　 □J頭痛　 □Kマドックの質問に不正解　□Lその他（　　　　　　　　）

受傷時の処置(応急処置の内容を書き入れる)

大切な事柄

この報告書は見舞金制度の『傷害報告書1（見舞金請求書）』とは異なります。見舞金に関わる場合は別途、『傷害報告書1（見舞金請求書）』を提出して下さい。また、下記に示す重症傷害に該当する場合は、本報告書及び『傷害報告書1（見舞金請求書）』とは別に、『重症傷害報告書』を提出して下さい。

本報告書は個人非特定のもと日本ラグビーフットボール協会の安全対策のための資料として使用されます。

脳損傷や急性硬膜下血腫では、臨床経過の報告やCT/MRI画像の提出を依頼することがあります。

本報告書の提出はラグビー競技への復帰を閉ざすのものではありません。提出へのご協力をお願い致します。

重症傷害報告書を提出する必要がある外傷

１ 頭蓋骨骨折の有無に関係なく24時間以上の意識喪失を伴う障害　２ 四肢の麻痺を伴う脊髄損傷　３ 死亡

４ 開頭および脊椎の手術を要したもの　５ 胸・腹部臓器で手術を要したもの　６ １〜５のほか診断書で重症と思われるもの

（６については、緊急手術を要する傷害、長期入院を要する傷害等、重傷と思われる傷害をさす）

2024年7月18日改訂